

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 31日
研究・研修課題名	放射線管理士と放射線機器管理士の資格維持
研究・研修組織名(所属)	放射線管理士と放射線機器管理士の資格維持(放射線部)
研究・研修責任者名(所属)	宮原善徳(放射線部)
研究・研修実施者名(所属)	麻生弘哉(放射線部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	麻生弘哉(放射線部)
学会名(会期・場所)、認定名等	放射線管理士と放射線機器管理士
演題名・認証交付元等	日本診療放射線技師会
取得日・認定期間等	2020年8月21日・認定機関5年
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

今年度より被ばくの管理が義務づけられたことと、放射線機器の管理化(特にMRI)は診療報酬の加算算定の条件として提示された。今後も重要な位置づけになることが予想される。放射線管理士資格と放射線機器管理士試験を受験し、失効猶予期間中に合格して資格を維持することを目的とする(尚、昨年度は日程調整が叶わず、受験できなかった為に失効者となった)。

② 方法

年一回、日本診療放射線技師会が主催して行われる放射線管理士、放射線機器管理士の講習会(オンライン)を受講し、最終試験に合格する。

③ 成果

放射線管理士、放射線機器管理士の講習会(オンライン)を受講し、最終試験に合格した。本資格は放射線機器・装置の品質管理や精度維持に繋がる。特にMRI装置の精度管理は診療報酬の加算算定の必須条件となっているため、本講習会で修得した知識を装置管理に活用する。今後も病院内の放射線被ばく、放射線機器管理を的確に行なう指導的立場を維持する。